

第7回嬉野市教育委員会議（定例12月）

平成29年12月20日（水）13:20～14:20

嬉野市塩田図書館2階 視聴覚室

1 開会

「想定外無し」という新聞記事を見た。東日本大震災の際など「想定外」という言葉をよく耳にしましたがいかにいろいろなことを想定して備えておくか難しいことですが大切なことと感じました。

2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

3 議題

(1) 報告

①平成30年度人事異動について

(教育長) ・平成30年度の教職員人事異動方針が発表された。教育課題の解決のため、学校運営体制の強化のため、教職員の資質向上のため、人事異動を行うとされている。全県的視野に立って適材適所に配置する、広域人事を実施する、といった基本的考えの他に、特色ある学校づくりを進めるため学校の公募や教職員の応募による人事配置を行っている。実施基準は変更はない。義務教育学校制度が施行されているためその表現が加わっており県内6学校で実施される。広域人事をより確実にを行うため西部地区全体（杵西、藤津）で異動をお願いすることとしている。

(○○委員) ・広域人事とすると地域を知らない人が来ることもある。広域の交流を行うことの大切さは認識しているが、人事異動についてはよく調べて行うようお願いしたい。

(教育長) ・教職員の交流をしていかないと地域で格差が出来てしまう。なるべく同レベルの職員を交流させていきたいと考えている。

②12月議会一般質問について

(教育長) ・山口忠孝議員からの小中一貫推進研究事業の評価についての質問については、私たちとしては高い評価をしており、これからの市の教育の在り方に一石を投じたとしている。今後の取組みについては、校区によって立地の条件の違いにより取り組みやすい校区、取り組みにくい校区があり大きな課題である。教科を限定して小中の連携を行うことも含めて今後検証していきたい。

・西村議員からの火の口交差点の通学路としての安全対策について、実際に登校時間帯に立って見たところ、確かに変則の交差点で交通量も多く危険な状況であっ

た。学校としては信号機を渡って行くよう指導しており、交通指導員による登校の見守り指導もあっている。来年度学校警戒標識が設置される予定である。

・山口要議員からの課の問題点と解決策については、学習指導要領改訂への対応が問題であるとしている。特に小学校の英語と道徳についてが問題であるとして取り組み内容を話した。

(〇〇委員) ・小中一貫推進の取り組みについて、ここ数年は研究指定校として取り組みが出来てきたが今後義務教育学校とまではいかなくとも制度的な面で小中一貫的な取り組みが出来ないものか。小学校と中学校をコンクリート道と屋根で物理的につながないと今以上の成果は難しいのではないかと思う。

(教育長) ・来年度まで県の研究指定校となる。小学校と中学校を結ぶ計画については中期財政計画の中に上げてみているところである。義務教育学校を取り組むとすれば吉田小中が適しているが、義務教育学校になった場合の大きなメリットはあまり見当たらないためもう少し検証が必要である。

(〇〇委員) ・子どもが減ってきているので空き教室があると思われる。小中学校をつなぐより空き教室を利用して一つの校舎にできるのではないか。

(教育長) ・市内の学校に空き教室はない。特別支援学級や学童教室を入れているため空き教室としてはない。

(委員長) ・吉田小学校、中学校を結ぶ計画とはどのようなものか。

(事務局) ・小学校、中学校にそれぞれに入口を作り、屋根つきの渡り廊下でつないで同時に老朽化している防球ネットを新しく出来ればと思い見積もりを取ったところ 7~8千万円との金額だったので簡単にはいかない。国庫補助も今のところ該当がない。

(委員長) ・12月議会での補正予算について説明を

(事務局) ・情報教育指導員をこれまでは一般非常勤として雇用していたが、この方が6月から任期付職員となったので一般非常勤の報酬の予算を減額した。街なみ環境整備事業として伝建地区の工事を毎年行っているが社会資本整備事業交付金の内示額が67%と減額されたため工事内容を縮小するものである。塩田給食センターの修繕費がかさみ不足するため増額の補正をするものである。

(委員長) ・おもてなし条例について説明を

(事務局) ・今回議員提案により嬉野市おもてなし条例の発議があった。魅力ある嬉野市の価値を高めいつまでも暮らし続けたい街を目指すためとして提案された。反対意見もあったが結果的に制定されることとなった。議員から教育長に対し「学校ではどのような取り組みをするのか」といった質問があり、これに対し「学校ではすでに嬉野学などおもてなしに関わる指導を行っており今以上でも以下でもなく取り組みを続けていく」といった回答をしている。

③社会教育関係の行事について

- (事務局) ・12月4～7日青少年育成市民会議で地域環境点検として主にコンビニなどで有害図書が不適切な販売をされていないかを見てもらった。特に問題はなかったとして報告があがってきた。12月2日の子ども文化祭について保護者が200人ほど見に来ていた。1月4日の成人式については教育委員の皆さんにも案内をさせていただいている。1月7日日本多選手の野球教室を予定している。1月28日のスキー教室は参加者が少ない状況である。
- (〇〇委員) ・スキー教室の案内をもらったが中学生は部活があり参加を諦めざるをえない。
- (教育長) ・第3日曜日は部活休養日であるので来年度以降はそのことを考慮して日程を決めてもらえればと思う。

④不登校児童生徒数の推移について

- (事務局) ・中学生は先月14人だったが15人に増えている。これは1年生男子が30日を超えたためである。30日未満についても不登校気味な生徒がいるため1人増となっている。15人のうち1人の女子が市外へ転出しているので来月は1人減となる。小学生は30日以上不登校の児童はいない。30日未満だけが登校しぶりがあって今回から数に入れている。9人のうちにもう少しで30日以上になりそうな児童を含んでいる。
- (教育長) ・先日いちょう教室を見に行ったら。きちんと対応をしないと普通教室へは通えない子がいる。月に1回は様子を見に行き行って働きかけたい。

⑤いじめの状況について

- (事務局) ・6月7月は多かったが最近は覚知が1件だけで各学校落ち着いているといえる。認知の1件についてはラインでのやり取りを母親同士が行っていたものであり、子どもたちが直接行ったものではない。
- (〇〇委員) ・不登校といじめと照らし合わせて、いじめが不登校につながっているものがあるのか。
- (事務局) ・不登校の調査の中に「不登校の理由」という項目があるが、この中にいじめを理由とする報告はあがっていない。

⑥給食費の変更について

- (事務局) ・うれしの産うまかもん給食支援事業として嬉野市産の米に補助をすることで農林課で予算がついており給食費へ小学生、中学生へ一律5,500円補助を行う。補助の方法として1月分2月分の給食費で相殺を行い、1月分は小学生が2900円、中学

生は 4100 円となり、2 月分は小学生中学生とも 0 円となるものである。補助対象は学校給食を食べている児童生徒である。

- (委員長) ・「アレルギーによる弁当持参者は対象外」とあるのは全部弁当持参の児童生徒でしょうか。
- (事務局) ・そうです。
- (〇〇委員) ・冷凍パンは来年度も使うのか。
- (事務局) ・給食パンを扱う業者 2 社のうち 1 社が廃業したため、残りの 1 社で対応できるようにあるための臨時的対応である。

(2) 協議

①平成 29 年度嬉野市内小中学校卒業証書授与式について

- (事務局) ・例年 12 月の教育委員会で卒業式の日程を決めているので今回もお願いしたい。高校入試のスケジュールなどを参考としていただきたいが事務局案としては中学校が 3 月 9 日、小学校が 3 月 16 日を提案したいがいかがか。
- (〇〇委員) ・中学校は入試の関係があるので 9 日でよいと思うが、小学校はこれより早い方がいいのか遅い方がいいのか、学校としては早く卒業させたいと思っているのではないのか。
- (事務局) ・できれば遅くまで留め置きたいところと思われる。早く卒業させれば不安要素も出てくる。といってあまり遅くなると中学校での学級編成調整や修了式にも影響してくる。
- (委員長) ・中学校が 3 月 9 日、小学校が 3 月 16 日でよいか。
- (全委員) ・承認

②平成 30 年度嬉野市内小中学校入学式について

- (事務局) ・29 年度に実施した小中同日開催について保護者からアンケートを取ったが「よかった」が 56%、「よくなかった」が 5%であった。また 1 年だけではなく 2 年くらい続けて実施してみても様子を見てはどうかとの意見もあったので事務局としては出来れば今度も同日開催で行いたい。日程としては 4 月 10 日が県立学校の入学式なので 11 日でどうかと考えている。
- (全員) ・異議なし (承認)
- (委員長) ・小中学校同日開催で 4 月 11 日の 10 時から小学校、13 時 30 分から中学校ということで開催することとする。
- (教育長) ・教員の辞任式赴任式の時期についての話が出ており、3 月中に辞任式を、始業式の前に赴任式をしたらどうかという意見が出ているところである。

(3) その他

・肥前さが幕末維新博覧会について

各市町の小学4年生以上は7月くらいまでに全員見学させることになる。

・中学校放課後学習塾について

11月中旬から週に3、4回、1日2時間程度で実施しており、約130人が参加している。

・次回定例教育委員会 1月23日(火) 10:00～

4 閉会

会議録署名委員
